

# グループ② 中高生に向けたPR企画案

テーマ

放課後デザインプロジェクト：～自分たちで創り上げる新しい場所～

ターゲット

未来型図書館に来ない高校生（来なさそうな高校生）



実施時期

①開館1か月前（未来型図書館を知り、興味を持ってもらう）

②開館後は定期的に（関わり続けてもらうことで当事者意識を醸成）

企画内容

- ・小松大学生が各高校に出向き、未来型図書館で行いたい企画や実現したいこと（カフェのメニューや施設の催し等）をテーマにワークショップを開催
- ・開催時に未来型図書館の魅力や次回のワークショップをPRするチラシを配布
- ・開館後は館内で定期的にワークショップを開催し、当事者意識を醸成
- ・ワークショップでは大学生が高校生と運営者の両視点で橋渡しの役割を担う

発表資料抜粋

## なにを・どうやって

第一回目は高校、オープン後は図書館でワークショップを開催する  
→その際に魅力を掲載したチラシを配り、「知ってもらう」



## どうして私たち（大学生）が関わるのか

- ・ワークショップを経験しているから
- ・企業側の視点、学生側の視点を持ち距離が近いからこそ手助けができる
- ・市外出身、県外出身の学生がいるため、情報提供や新しい発見ができる



配布するチラシのイメージ

学生アンバサダーとしての役割